

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 santec株式会社

コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鄭 台鎬

問合せ先責任者 (役職名) 業務部管理グループ長

(氏名) 水島 大介

TEL 0568-79-3535

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,159	△5.4	△144	—	△219	—	△137	—
23年3月期第2四半期	1,225	7.4	△64	—	△172	—	△97	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △49百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△11.50	—
23年3月期第2四半期	△8.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,411	6,505	87.8
23年3月期	7,548	6,591	87.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,505百万円 23年3月期 6,591百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	11.6	157	49.0	134	150.3	206	75.5	17.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,961,100 株	23年3月期	11,961,100 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	226 株	23年3月期	226 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	11,960,874 株	23年3月期2Q	11,960,950 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(以下、「当第2四半期」)におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の低下や電力不足への警戒感などから、先行き不透明な状態で推移いたしました。世界経済においても、欧州を中心として金融不安が収まらず、将来の回復を模索する状態が続いております。

当社グループの属する光通信分野においては、スマートフォンの流行等に伴うデータ通信量の増大により、通信設備増強の必要性の声がある一方で、世界経済への不安感、技術動向への様子見などから、設備投資に慎重な姿勢をとる傾向も見られました。

このような中、当社グループは、平成24年3月期(平成23年4月1日から平成24年3月31まで)の基本方針として、「ビジネスユニット制の進化による成長基盤作り」を掲げ、迅速かつ適切な意思決定を可能にする組織作りと、それに伴う収益率向上を目指し、事業活動を展開しております。

当社グループの当第2四半期の売上高は1,159百万円となり、前第2四半期連結累計期間(以下、「前第2四半期」)と比較して5.4%減少しました。光部品製造工程向けの光測定器の売上が増加した一方で、光部品製品については、受注が減少しております。光部品製品の受注が減少している主な理由は、スマートフォン等の流行に起因するデータ通信量の劇的な増加で、次世代通信技術の普及が早まるとの観測から、従来技術への設備投資見合わせの傾向が出ていることによるものです。

売上高減少に対して、原価低減活動の推進、粗利益率の高い光測定器製品の販売活動推進により、当第2四半期の営業損失は144百万円(前第2四半期は同64百万円)、当第2四半期の経常損失は219百万円(前第2四半期は同172百万円)となりました。四半期純損失は137百万円(前第2四半期は同97百万円)となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 光部品関連事業

当第2四半期の売上高は644百万円となり、前第2四半期比19.5%の減少となりました。前述の通り、光部品技術の端境期入りの観測により、顧客において投資見合わせがあったことによるものです。セグメント損失は67百万円となりました。

なお、当社は光部品関連事業の研究開発に関連し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(略称「NEDO」)から、前年度に引き続き、助成を受けております。これに加え、総務省の実施する「ICTグリーンイノベーション推進事業(略称「PREDICT」)」の平成23年度研究課題公募におきまして、当社提案が採択されました。当社におきましては、これらの助成及び委託を受け、新製品の開発に注力しております。

#### ② 光測定器関連事業

主として中国において光部品製造ライン向け光測定器製品の売上が増加いたしました。これにより、当第2四半期の売上高は375百万円と、前第2四半期比22.0%の増加となりました。一方で、円高によって利益が押し下げられるケースも増えており、セグメント損失は86百万円となりました。

#### ③ システム・ソリューション事業

PCユーザサポートに用いられるソフトウェアの販売について、既存顧客への手厚いサポートで、利用継続率を高めたこと、遠隔地のPCを操作するソフトウェア製品が軌道に乗り始めたことから、当第2四半期の売上高は139百万円と、前第2四半期比19.2%の増加となりました。セグメント利益は9百万円となっております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末(7,548百万円)に比べて136百万円減少し、7,411百万円となりました。これは、売掛金の減少などがあったことによるものです。

#### ② 負債

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末(956百万円)に比べて51百万円減少し、905百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少などがあったことによるものです。

#### ③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末(6,591百万円)に比べて85百万円減少し、6,505百万円となりました。これは、四半期純損失を計上する一方で、保有する上場株式の含み益の増加があったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は、87.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前述の通り、通信設備投資の必要性は高まっておりますが、世界的な景気の不透明感に加え、新技術への端境期特有の設備投資抑制ムードなどが、当社業績に対しても影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、このような環境のもと、市場の動向を正確に見極め、変化に対して的確な対応を可能とする組織作りを行うとともに、光技術の可能性を更に高め、将来の成長に向けて全力を尽くしてまいります。

平成24年3月期通期連結業績予想につきましては、本年8月3日に発表したものから変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適当指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,348,858	1,506,573
受取手形及び売掛金	813,208	535,037
有価証券	175,356	8,784
商品及び製品	129,833	162,411
仕掛品	79,408	56,507
原材料	260,228	287,673
その他	82,941	41,520
流動資産合計	2,889,836	2,598,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,982,087	1,933,798
機械装置及び運搬具(純額)	46,679	42,325
土地	1,624,241	1,624,241
リース資産(純額)	4,795	3,342
その他(純額)	102,960	126,827
有形固定資産合計	3,760,764	3,730,536
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	768,499	958,387
その他	27,413	26,567
投資その他の資産合計	795,913	984,954
固定資産合計	4,658,193	4,813,384
資産合計	7,548,030	7,411,892

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,911	292,742
未払法人税等	14,485	11,152
賞与引当金	25,256	18,324
その他	128,920	141,163
流動負債合計	546,573	463,383
固定負債		
退職給付引当金	241,763	255,697
役員退職慰労引当金	153,335	—
資産除去債務	10,612	10,734
その他	4,628	176,091
固定負債合計	410,340	442,523
負債合計	956,914	905,907
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	597,568	424,175
自己株式	△80	△80
株主資本合計	6,785,519	6,612,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△78,094	23,809
為替換算調整勘定	△116,309	△129,951
その他の包括利益累計額合計	△194,404	△106,141
純資産合計	6,591,115	6,505,984
負債純資産合計	7,548,030	7,411,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,225,470	1,159,090
売上原価	788,252	751,211
売上総利益	437,218	407,879
販売費及び一般管理費	501,999	552,119
営業損失(△)	△64,781	△144,240
営業外収益		
受取利息	13,216	11,832
受取配当金	681	648
助成金収入	10,403	12,200
その他	1,203	6,023
営業外収益合計	25,504	30,705
営業外費用		
支払利息	195	105
為替差損	109,885	82,235
その他	22,845	24,035
営業外費用合計	132,925	106,377
経常損失(△)	△172,202	△219,913
特別利益		
固定資産売却益	—	5,737
役員退職慰労引当金戻入額	79,969	—
投資有価証券売却益	5,350	133,618
特別利益合計	85,319	139,355
特別損失		
固定資産除却損	12	75
投資有価証券売却損	—	49,131
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,937	—
その他	—	2,731
特別損失合計	5,950	51,938
税金等調整前四半期純損失(△)	△92,832	△132,495
法人税等	5,036	5,015
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,869	△137,510
四半期純損失(△)	△97,869	△137,510



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,869	△137,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,052	101,904
為替換算調整勘定	△29,263	△13,641
その他の包括利益合計	△97,315	88,262
四半期包括利益	△195,185	△49,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,185	△49,247
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△92,832	△132,495
減価償却費	87,289	95,646
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,897	13,933
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△70,974	△152,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,900	△6,743
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,937	—
受取利息及び受取配当金	△13,882	△12,480
支払利息	195	105
為替差損益(△は益)	102,876	81,481
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,350	△84,487
固定資産除却損	12	75
固定資産売却損益(△は益)	—	△5,737
売上債権の増減額(△は増加)	△50,907	265,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,392	△37,344
仕入債務の増減額(△は減少)	67,871	△73,575
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,082	△17,233
その他	△12,203	251,465
小計	△14,645	185,072
利息及び配当金の受取額	12,255	9,315
利息の支払額	△195	△105
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,920	△6,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,505	187,844
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,478	△58,323
有形固定資産の売却による収入	—	5,737
無形固定資産の取得による支出	△5,562	△3,236
投資有価証券の取得による支出	△92,892	△340,828
投資有価証券の売却による収入	305,350	499,609
その他	—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	187,417	103,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△23	△35,497
リース債務の返済による支出	△1,738	△1,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,761	△37,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△125,801	△95,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,348	158,539
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,600	1,356,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,593,949	1,515,357

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	800,466	307,770	117,050	1,225,287	183	1,225,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	800,466	307,770	117,050	1,225,287	183	1,225,470
セグメント利益又は損失 (△)	9,170	△66,644	△7,380	△64,854	73	△64,781

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外他社製品の輸入販売事業であります。

2 報告セグメント及びその他のセグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)1
売上高				
外部顧客への売上高	644,193	375,334	139,562	1,159,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	644,193	375,334	139,562	1,159,090
セグメント利益又は損失(△)	△67,125	△86,318	9,202	△144,240

(注)1 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。